

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	両川・小須戸・東曾野木・曾野木・横越・竹尾・西内野・関屋ひまわりクラブ		
管理者名	新潟県ビル管理協同組合	指定期間	2019年4月1日 ～ 2024年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的

昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に児童の健康と安全確保に配慮し、放課後の時間帯における家庭的機能の補完により、「生活の場」及び「遊び」を通して、児童の健全育成を図る。 <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の平等利用を確保し、児童の健康管理、安全管理、情緒の安定を図り、クラブ活動を通じて、遊びの活動と学習への意欲形成、自主性、社会性、創造性の向上及び保護者の子育て支援を図ること 児童・保護者・地域のニーズに即した管理運営及び職員の資質向上に努め、モチベーションの高いクラブ運営を実現すること
運営組織	<p>【職員配置】</p> <p>＜正規支援員＞各クラブ2名 ＜補助員＞各クラブ運営に即し適正な人員を配置</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 計画的・継続的な職員公募により、職域全体において広く人材を確保し、採用・配置にあたっては、厳正な選考とOJT教育を含む採用前研修を実施
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の人権と人格を最大限尊重して常に傾聴の姿勢を基本とし、子どもの年齢層による発達過程と個々の養育環境を十分に理解し、個別のかつ適正な育成を図る。 <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入会時の「児童調査票」への記入とヒアリング及びクラブの設置目的への協力を要請して子どもたちの放課後生活を継続的かつ安定的に保障し、親の働く権利と家族の生活を守る。 <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的に子どもの安全確保と健康に関する情報交換と共有し、学校施設の利用等に関して積極的な連携を図る。学校とひまわりクラブの連動性に考慮し、積極的にふれあいスクールと連携を図る。 <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひまわりクラブの存在とその目的を的確な広報活動を用いて周知し、クラブ解放Dayの拡大に努め、クラブ行事への招待活動、地域行事への参加を検討する。 突発的な病気やケガ、事故等に備え日頃から地域の医療機関等との連携を図る。 おやつのお買入などは、可能な限り地域からの調達を心掛ける。 <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもの受入にあたっては、子どもと保護者の立場に立ち、障がいの程度、発達状況等、個々の状況を的確に捉えた育成とより良い支援や問題の解決方法を検討する。 <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を配置し、要望・苦情等の受付体制の明確化と積極化を図り、経過等については対応事例として検証と評価を行い、その後の事業運営に反映させる。 利用者アンケートにより日頃から積極的な利用者ニーズの吸い上げと把握に努める。 <p>【新型コロナウイルス感染症予防対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員は常に児童の健康状態に留意するとともに、施設内の消毒・換気を定期的に行い、パーティションの設置等により“密”の回避と児童への働き掛けを実施する。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	A	個々に応じた対応をしている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて開設対応	A	すべて対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	一部クラブのみでの実施	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	全クラブで内部監査を年1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	全クラブで始業前ミーティングを毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	全クラブで年2回実施	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	全クラブで年1回実施	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	全クラブで毎月点検を実施	A	定期的な点検が行えている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	全クラブで2人以上配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	支援員限定の研修会を年1回実施	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断を年1回実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成28年度より指定管理者として4クラブ6施設のひまわりクラブ運営にあたっており、2019年度から新たに追加されたクラブを含め、8クラブ11施設を運営。指定管理者として、利用者満足を向上させるためには、まず従業員満足をより向上させるべきであるとの認識から、運営当初より現場との距離感・職員とのコミュニケーションを重視し、常に迅速な対応を心掛けるとともに、職員の働き方の見直しなど安心・安全への配慮と適正な人材確保に努めてきました。令和4年度の運営においては、引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な制限を受ける中、常に適切な感染予防対策に取り組んでまいりました。また、保護者からの要望にあたっては、クラブと管理者が連携を図り、適切な判断のもと、迅速に対応するとともに利用者アンケートの実施により運営に反映させることができました。しかし、全体研修会については、支援員限定ではありましたが、ようやく年1回開催することができ、次年度以降は補助員を含めた全体研修の計画を実行したいと考えております。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成28年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。令和元年度からは管理するクラブが追加となった。保護者の要望やアンケート、支援員からの意見についても、事務局職員が現場まで足を運びコミュニケーションをとりながら丁寧に対応し、利用者満足向上につながる従業員満足向上を図っているほか、令和4年度も引き続きコロナ禍で様々な制限を受ける中、適宜対応を考えながら運営を行っている。また支援員限定ではあったが職員研修を行い資質の向上や、処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（白根ひまわりクラブ）		
管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>子どもと親、地域と支援員とが主体的に運営に参加し、まちぐるみで支え合う子育て支援の拠点となるひまわりクラブのを目指す。</p> <p>①子どもたちの成長への貢献…子どもたちの生きる力の基礎となる主体性や社会性、創造性を高めていく保育を大切にすること。</p> <p>②親の子育て支援への貢献…働く親のニーズに応じて、仕事と子育ての両立を支援。</p> <p>③地域のまちづくりへの貢献…子育て支援に関心のある地域の方との出会いを広げ、子育てしやすい街づくりを地域の皆さんと一緒に進める。</p>
運営組織	<p>【職員配置】 常勤職員-各施設2名、非常勤職員-各施設2名以上を配置</p> <p>【職員研修、採用基準】 子どもや保護者と向き合う姿勢、時代のニーズを受け止められる視野の広い人材確保。計画的な研修の実施で職員の資質向上。</p>
運営についての提案	<p>【健全育成に対する考え方】</p> <p>①一人ひとりの子どもを理解し、「安心」の土台を築く</p> <p>②子どもの心身の育ちの中で、遊びを豊かに展開することの支援</p> <p>③管理ではなく、話し合いとルールづくりを大切に</p> <p>④思っていることが言え、受け止めあえる関係づくり</p> <p>⑤一人ひとりの子供の育ちと発達をよく捉えた支援</p> <p>【衛生管理】 コロナ禍による対応</p> <p>①施設及び備品等の消毒</p> <p>②定期的に換気を行う</p> <p>③マスクの着用</p> <p>【保護者・地域との連携】 日常の情報交換を大切にし、積極的に情報発信を行う。</p> <p>【要望・苦情に対する対応】 意見や要望が率直に出される信頼関係の構築。 要望や苦情等の意見は真摯に受け止め、解決に向けての話し合い。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れた	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	保護者会の実施 地域との連携(ハロウィンイベントを地域の方にお集りを渡してもらう等一緒に実施した)	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	月1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行(安価な物品への切替、資材の再利用)	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施、月1回全職員会議の実施	A	日々実施し、職員間の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年2回以上実施(火災1回、防犯1回)	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年1回以上の研修を実施(今年度2回実施)	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	始業時施設点検閉所前の点検・消毒及び年1回(空調機、消防設備)年2回(電気設備)定期点検を実施	A	点検を日々行っている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書の通り実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上の配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	Webによる全体研修への参加内部研修を実施(R5/1月2回・3月1回)	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診年1回のほか、ストレスチェックの実施。	A	健診の他にストレスチェックを実施している。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

児童の健全育成を図るため、支援員をはじめとし、利用児童、保護者、学校、地域等と連携を取りながら、運営に携わってきました。児童一人一人が主役となるよう、その個性を大事にした支援を心がけています。昨今は特性のある児童に対し、すべての職員が研修を通してその対応を学び、実践しています。合わせて日々のミーティングや第1第2両クラブ間での情報交換、月1回の全職員会議では気になる子どもについて情報共有を図って来ました。これまで同様、白根児童センターとの合同の会議も年に数回実施しお互いの協力体制を築いています。また、白根児童センターや隣接している白根健康福祉センターとも連携し、行事への参加などを通じ、地域との交流を図って来ました。

利用者アンケートを児童、保護者の両方に実施。児童のアンケート結果を元に、児童が考え主体になれるような活動を取り入れています。保護者のアンケートは、「安心でんしょぱと」を用いて行ったところ、紙ベースよりも多くの回答があり、その結果を公表するとともに改善、要望事項については職員間で話し合いその対応に向けて取り組んでいます。

コロナ感染に対する規制緩和が進みましたが、行事等の中止、縮小をする中で保護者との関わりを持てるよう、クラブ内の作品展示や児童の様子を見てもらう工夫を行いました。児童数も増えたこともあり、ストレスを抱える職員も多く、今年度も団体内にある健康管理室の指導の下、ストレスチェックを実施し、ケアを行いました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

支援員・利用児童・保護者等の連携を図りながら運営に取り組んでいる。併設する児童センターや健康福祉センターの受託もやっていることから連携を強化し、合同の行事への参加、交換交流など幅広い活動を行っている。

令和4年度においてもコロナ渦で様々な制限がある中、緊急時の事象に対応しつつ、保護者と関わりが持てる機会も創出しているほか、コロナ対応による職員の負担増にも考慮した運営やストレスチェックの実施によるケアも行っている。

また、職場内研修などでスキルアップも図るとともに、職員の処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施している。

そのほか児童・利用者アンケートを実施して運営改善に努めており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（下山ひまわりクラブ）		
管理者名	社会福祉法人下山福祉会	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 基本的人権の尊重 地域福祉の充実</p> <p>【方針】 ・子ども一人ひとりの発達段階を踏まえながら、子どもの最善の利益を考慮し、その健全育成を図る。 ・子どもの安全、健康、情緒の安定、自主性、社会性、創造性の向上及び基本的生活習慣の確立を図る。</p>
運営組織	<p>【職員配置】 支援の単位ごと2名以上の放課後児童支援員</p> <p>【人材確保・育成】 ・子どもの個々の発達を理解し、保護者と共に子どもの成長を喜び、連続性のある育成支援を行う。 ・子どもの健全な育成を図るために必要な知識の修得、維持及び向上に努めるため、施設内外の研修、日々のミーティングから、支援員の資質向上、専門性の向上に努める。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 ・発達の個人差を踏まえ、一人ひとりの心身の状態を把握しながら、見通しを持った育成支援を行う。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援】 ・保護者と密接な連携を取り、児童の様子を日常的に伝え、共有することにより、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるよう支援する。</p> <p>【学校や地域との連携】 ・学校や地域と、情報共有を行い、事故、災害、防犯から、子どもの安全を守る取り組みを行う。 ・地域との交流を行うことで、子どもたちが地域の一員として自覚を持ち、社会力を養えるよう支援する。</p> <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】 ・学校、関係機関との情報交換、情報共有を行い、子どもの生活の連続性に配慮しながら連携を行う。 ・個々の発達を理解し、子どもの思い、保護者の思いに寄り添い、適切な支援に努める。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 ・苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、解決に向けた手順を整理し周知する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れた	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応した	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	コロナ渦により自粛した	C	コロナ禍による自粛のため、次年度以降の対応に期待する
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	会計事務所による監査を年1回行った。	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	経費縮減の励行。管理に必要な経費の見直し。業者には、合い見積もりを依頼し、経費縮減につながるよう検討した。	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施	A	日々実施し、職員間の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年3回実施	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年1回実施	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	週1回点検	A	定期的な点検が行えている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書通り実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	外部研修参加3回 施設内全員研修10回開催	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	年1回実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・子ども一人ひとりの発達の個人差や特性を理解し、見通しを持った育成支援を行えるよう、保護者との情報共有を行った。
- ・保護者の思い寄り添い、気持ちを受け止め、一緒に子どもの成長を喜べるように、また、保護者の方が安心して仕事等と子育ての両立ができるように、配慮した。
- ・子どもの生活の連続性を保障するために小学校や、関係機関との連携、情報の共有を行うことができた。今後も、各機関との連携を積極的に図る。
- ・新型コロナウイルスが5類感染症移行となったため、感染症対策には配慮をしながら、子ども同士の関わりを深め、子どもたちが協力し自発的にあそびを作り出せるように配慮する。
- ・地域の方との交流を行い、地域の一員としての役割を知る。
- ・地域住民との連携を深め、災害、防犯、事故から、子どもたちを守る。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成28年度から公募により選定され、下山ひまわりクラブの運営を開始。保育園運営のノウハウを生かし、子どもたちへの接し方はもちろん、地域や学校、保護者との連携においても丁寧な対応を行っており、良好な関係を築いているほか、児童・保護者アンケートやご意見ポストの要望を協議して運営の質向上や、避難訓練を年3回実施するなど危機管理意識の醸成にも努めている。

また、令和4年度においてもコロナ渦で様々な制限がある中、一部の項目が未実施となるものの、緊急の事象に対応しつつ、工夫を凝らしながら地域との交流や児童が楽しめよう運営を行っている。

そのほか、研修への計画的受講などでスキルアップも図るとともに、職員の処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（山の下ひまわりクラブ）		
管理者名	山の下地区コミュニティ協議会	指定期間	2019. 4. 1 ~ 2024. 3. 31
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の納税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること。遊びや活動への意欲と態度の形成を図ること。遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること。保護者への子育ての支援を図ること。</p>
運営組織	<p>【職員配置】<正規支援員>嘱託職員3名<臨時支援員>加配支援員1名、短時間支援員3名、日々代替支援員1名</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 地元地域の人材活用を基本に、知識と理解及び情熱を有する質の高い職員を採用し、定期的研修と会議をもつことで、質の担保とボランティア等の育成も同時に行っていく。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 児童の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に、個別且つ適正な育成を図る。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】 保護者との密な連絡帳のやりとり・定期的な保護者会を開催、クラブ便りを定期的に発行し、クラブでの子どもたちの様子、行事などを説明し、理解と協力を依頼する。家庭と密接に連携し、児童の成長を関係者で共有し見守る。</p> <p>【学校や地域との連携に対する考え方及び取組内容】 学校長、学級担任と情報を共有し、児童に合った支援を行う。 地域の避難訓練、防災訓練を通して、顔の見える事業を行う。</p> <p>【配慮を要する児童に対応する対応方針】 一人一人に合った支援指導を行う。 学級担任や特別支援学級担任と情報を共有し、援助、支援、協力をいただく。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 保護者や地域の要望、苦情は積極的に意見を拝聴した上で、その後の事業に取り入れていき、受付窓口から解決までの体制整備を常に図ることで対応を迅速化していく。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	全て受け入れ	A	待機児童を発生させないよう対応している
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	全て受け入れ	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応	A	全て対応している
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	コロナ禍のためなし	C	コロナ禍による自粛のため、次年度以降の対応に期待する
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	地域の業者に低価格で作業の依頼をした	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎月1回	B	
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	2回実施した	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	個人情報の管理を徹底した	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	日々点検をした	A	点検を日々行っている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書の通り実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	二人以上配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回外部研修に参加した	C	指定管理者内での開催も実施できるよう期待する。
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	協会けんぽの助成を受け手厚い健診を行った	A	手厚い健康診断を行っている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

インターネット回線の引込工事が完了し、安心でんしょぼと導入、1年が経過しました。
安心でんしょぼとの全ての機能についてうまく活用はできていないなか、支援員の操作や確認が定着してきたことは良かったと思う。更に、便利な機能をクラブ側、保護者側で使いこなすにはシステムの問題等で保護者連絡をしても届いていないなど不具合もあるようです。
研修についてはインターネット回線の整備が完了したのでZOOMの研修に積極的に参加した。
引き続きコロナ禍で消毒作業など支援員の負担増の中、可能な限り対策を講じた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもを地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られているほか、地域力・市民力を発揮した地域で子育てを支援する環境が育まれている。
令和4年度においてもコロナ禍の様々な制限がある中、一部の項目で未実施となったものの、インターネット環境の整備、学校の余裕教室などを活用した分散見守りの対応、児童の活動の幅を広げている運営がなされている。
そのほか、職員の健康診断については手厚い内容の実施、外部研修への計画的受講などで支援員の資質向上、処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（坂井輪・坂井東・新通つばさひまわりクラブ）		
管理者名	(株)DreamAdvance ゆめのき学園	指定期間	2019年4月1日 ～ 2024年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後の時間、「自分で考え 自分で選択し 未来を創る力を育む」の理念の基、ひまわりクラブで過ごす時間のみでなく、その後自分たちで考え、生きていける大人になるよう見守り応援する。</p> <p>【基本方針】 ①こどもたちの心身の安全、健康管理 ②遊び、学びを通して個々の可能性を伸ばす。 ③学校、地域、さまざまな社会資源との連携を大切に、家庭を支援していく。</p>
運営組織	<p>【職員の配置】 支援単位ごとに2名以上の支援員を配置し確実なクラブ運営を実施する。</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 児童の育成の情熱を注ぎ、心身ともに健康な支援員を育成する。職員がまず理念に基づき行動できること。また、子育て世帯の職員も働きやすくなるように、働き方の工夫を行い、やる気と熱意のある職員をサポートしていく。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <p>①さまざまな分野に触れることができよう外部との積極的な関わり、興味づけの場。</p> <p>②支援員が決めた枠に入れるのではなく、子どもが子どもを育て合う。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取り組み内容】</p> <p>連絡帳、クラブ便り、個人懇談等により保護者と連携を図るとともに、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、開かれたひまわりクラブを目指す。</p> <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <p>日頃から学校との情報共有に努め、子どもの健康状態や心身の状況に応じた応援、事故、犯罪、災害等から子どもを守るために連携を図る。</p> <p>【地域との連携に対する考え方及び取り組み内容】</p> <p>ふれあいスクールや地域教育コーディネーターとの情報交換、連携に努め、さまざまな視点で児童を支援できるようにする。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	受け入れた	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応した	A	全て対応した。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	・ふれあいスクールについての情報交換の他、引率等を行い参加を促進した。 ・地域ボランティアの受け入れ、ボランティアや講師と連携したイベントの実施 ・学生団体と連携したイベントへの保護者参加 ・保護者の方のお店と連携したランチ提供	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	内部監査2回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	物品購入の際に、インターネットで価格を比較し、安い店舗から購入するように努めた。光熱費の上昇があったため、節電に努めた。他、節水・コロナ対策としてトイレの水道を自動水栓とした。	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日十分な時間をとり行なった。	A	毎日ミーティングを行い、職員間の情報共有や連携を図っている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	様々なパターンを想定して行なった利用児童を含めた訓練を、年間5回行なった。	A	様々なパターンを想定した内容で、目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	2回行なった (管理職・クラブ長)	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	安全点検票に基づき日々チェックした	A	点検を日々行っている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適宜確認して意識をもち行動した	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	各クラブ2人以上配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	対話の研修、事例研修の実施 7/7(木)哲学対話(外部講師) 9/29(木)事例研修(内部研修) 11・12月 応急救護研修 (元消防職員による内部研修) ※各クラブ1回ずつ 12/22(木)学生アルバイト研修(内部研修)	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	対象職員の健康診断実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

近年学校やひまわりクラブに通うことが難しい児童が増えてきているが、必要に応じて個人に合わせたサポートや居場所に繋げることを実現している他、学校との定期的な情報共有により、連携した育ちの見守りを行なっている。
人材の充足は依然として課題となっている。令和4年度は大人数の採用を実現したが、定着が難しく、退職や休職が重なった。一方で経験年数を重ねてきた職員もあり、異動によって安定したクラブもあった。引き続き、人材の育成と採用に力を入れて取り組んでいく。
個人情報保護については、日頃の個人情報の取り扱い時に必要に応じて各クラブで確認を行なっているが、新しい職員も増えてきていることから、次年度は内部での研修の実現に取り組む。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和元年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。入会の相談時から利用者目線で相談や個人に合わせたサポートを実施しているほか、ボランティアの受け入れや学校との定期的な情報共有など地域と連携した活動を行っており、目標である「開かれたクラブ」を実践している。令和4年度においてもコロナ禍で様々な制限がある中、緊急時の事象に対応するとともに、利用児童が色々な経験をできるような取り組みを実施している。
また、事務局とクラブとの間でも適切にコミュニケーションが図られているほか、職員の資質向上のための研修、処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（11クラブ）		
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	弊社は、「未来の子どもたちのために」を企業理念に掲げ、どの場面においても、目の前の子ども一人ひとりの絆を大切にし、大切なことは何かを共に考え、子どもたちの素晴らしい未来のために、真心を込めてはぐくみ、提供し続けます。この企業理念をベースに「5つの運営方針」と健全育成プログラム「3本の柱」をもち、ひまわりクラブの運営にあたります。ひまわりクラブが安心・安全な居場所であり、第二の家である「生活の場」を確保すると同時に、保護者の皆さまに安心して子育てと仕事の両立に取り組めるような、環境を提供していきたくと考えています。
運営組織	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置 <ul style="list-style-type: none"> ・支援の単位毎に施設責任者（放課後児童支援員）の配置し2名以上で子どもの育成支援を実施 ・運営支援担当を選任（業務；新潟市、関係機関、クラブとの調整、連絡・相談） ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地元優先雇用をベースし採用（既存職員の継続雇用も含む） ・社内紹介制度に人材（支援員・補助員）の紹介 ・児童福祉専属の新卒者採用の積極採用 ・広告募集（新聞折り込み・ネット広告・ポスティング等）による人材確保 ・近隣高校・大学へのアルバイト、インターンシップの依頼 ・本部・営業所・近隣現場からの応援体制（人欠時・長期休暇時） ・入社時研修、定期的なブラッシュアップ研修の実施。基礎・専門知識の習得 ・有識者による「いじめ問題」や「発達障の子どもへの対応」等の講習会の実施
運営についての提案	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に応じた健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・児童期（低学年・中学年・高学年）の発達の特徴を踏まえたかわり、指導 ・年間行事を通じた児童育成（感性育成プログラム・造形遊び、食育セミナー） ○保護者、学校、地域との連携に対する考え方及び取組内容 <ul style="list-style-type: none"> 保護者：連絡ノート・おたより、保護者会を中心に連携・協力 アンケートによる利用実態調査。運営改善活動の実施 学 校：定期的な情報交換会の開催。児童に関する情報共有、協力体制の確立 地 域：関係機関（警察署・消防署・町内会・育成協議会等）との連携 ○配慮を要する児童に対する対応方針 <ul style="list-style-type: none"> 【障がい児対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員加配や施設・設備が整っている場合、可能な限りの受け入れ ・関係機関（学校、病院、キッズサポートチームなど）や保護者との連携、ひまわりクラブに通う子どもたちへの理解と協力による育成サポート体制の確立 【アレルギーを有する児童】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活管理表指導表によるアレルギー食物の確認・排除の徹底 ・お皿の色分け、児童名、アレルギー食物名を記入したお皿での提供 ・おやつは配る前に職員2名以上で確認してから分配 ・定期的なエビベン講習会実施による、支援員の資質向上を図ります ○要望・苦情に対する対応及び方法 <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止への取り組み（日々のミーティングによる支援員間の情報共有の徹底） ・現場で解決困難な場合は第三者委員（キッズサポートチーム）を含めた問題解決・アドバイスの実施 ・施設間での要望・苦情等の原因・対策・対処方法を情報共有

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	障がい児童待機0人	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て開所対応	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	コロナ禍により未実施	C	コロナ禍による実施のため、次年度以降対応に期待する
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年2回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	2社以上の業者対応	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日1回ミーティング実施	A	日々実施し、職員の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	各クラブごとに避難訓練年1回実施	B	
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	施設ごとでの実施年1回	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	日常業務の中で点検実施	A	日々点検が行えている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	各クラブへ仕様書とマニュアルを配布	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2名以上の配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	アレルギー研修1回 発達障害児童対応研修1回 読み聞かせ研修1回	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	全職員健康診断受診	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・コロナ禍において自主事業や職員全員揃っての研修実施ができなかったが、リモートでの開催と当社内での研修ネットをパソコン、携帯からログインし、各クラブごとに参加研修の実施を致しました。
- ・研修ネットの中には児童用の配信もあり、各クラブごとに児童にも参加をして頂き、当社で運営している全国の学童クラブとの交流の場があったり、読み聞かせを実施致しました。
- ・令和5年度では、コロナ禍にて実施できなかった地域交流を再開実施とリアル開催で研修を実施して参ります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和元年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。児童に対して楽しさの中に学びがある活動を目指し、工夫をしながら運営を行っている。保護者の要望や支援員からの意見についても、事務局職員が現場まで足を運びコミュニケーションをとりながら丁寧に対応している。
令和4年度もコロナ禍で様々な制限がある中、一部未実施となるものの、緊急時の事象に対応するとともに、自社の強みを生かした全国の学童クラブとの交流や読み聞かせ等により、児童が楽しめる時間を創出している。
また、職員等の資質向上のための研修、処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（小林ひまわりクラブ）		
管理者名	小林コミュニティ協議会	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念 児童が安心・安全に過ごし健やかな成長を育める場を提供する。 ○基本方針 意欲・自主性を尊重し発達や状況に応じた柔軟な育成支援を行う。
運営組織	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置 基本方針を目標とし個々の児童への手厚い支援が行き届く職員配置とする。 ○人材確保・育成・研修に対する考え方及び内容 地域の人材を活用し 内外の研修を受け 日々の事象について職員間で協議を重ね 自己研鑽に励む。
運営についての提案	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に応じた健全育成 児童の人格を尊重し 個々の発達や状況に応じた柔軟で適正な育成支援。 ○保護者・学校・地域との連携に対する考え方及び取り組み内容 保護者とのコミュニケーション（送迎時・保護者会等）を大切にする。 学校長・学級担任と情報を共有する。 地域行事に参加し交流する。 ○配慮を要する児童に対する対応指針 個々にあった支援を行う。学校長・学級担任と情報を共有し助言を仰ぐ。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 真摯に受け止め 傾聴し その後は 迅速な解決へと取り組む。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	すべて受け入れをした。	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れをした。	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応した。	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	・地域の文化祭へ参加。・地域の保全会「みどり会」の生き物調査へ参加。「コミ協だより」へ活動等を掲載し公開。	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	・コミ協役員の立会いのもと監査役員2名による監査を年1回。(毎月 会長・学童保育部会長・施設長による確認済。)	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	・保険契約等については見積もりをとり計画的に支出。消耗品については最小限におさえて年度末に施設内の整備・玩具・図書を充実させた。	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	実施した。 ・月～金…下校前約10分間。 ・毎月…1回約1時間	A	日々実施し、職員間の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	・地震1回・火災1回・洪水1回・不審者対応・消火訓練1回・救命講習1回	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	ミーティングにより周知した。(年4回)	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	実施した。(月1回)	A	定期的な点検が行えている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した。	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	配置した。	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	開催した。(年4回)	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	実施した。	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

地域コミュニティでの育成支援の特性を生かし 防災会・保全会等 地域との交流を深め 積極的に行事を実施しております。

また 学校との関わりも密なため「学校運営協議会」「学校保健委員会」「支援ボランティア」等への参加を通し 学校と連携して ひとりひとりの児童の発達や状況に応じた豊かな育成支援に努めています。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和2年度からひまわりクラブとして同協会が運営を開始。以前は民設民営の「こぼっ子クラブ」として同協会が運営を行っていたことから、地域や学校、利用者との信頼関係が構築されており、その強みを活かしながら運営を行っている。

また、令和4年度においてもコロナ渦で様々な制限がある中、障がい児への対応として学校授業のボランティアへの参加や地域の催しにも積極的に参加するなど、工夫を凝らしながら運営を行っている。

そのほか、職員の処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)や職員研修を開催するなど職員の資質向上にも努めており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	月湯ひまわりクラブ・臼井ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人新潟南福祉会	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的

昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】 公の施設管理者としてのその責務を自覚し、管理運営に関する基本事項を実践するとともに、児童が心身共に健やかに育成されるよう適切な運営を行う。</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりと人の痛みがわかる子ども」の育成と「安心して過ごせる安全な居場所づくり」に努める。 ・保護者への子育て支援を図る。 ・地域との密接な連携を実践する。
運営組織	<p>【職員配置】 〈正規支援員〉3名 〈補助支援員〉日々代替支援員・土曜日登録支援員・長期休暇の状況に応じて短時間登録支援員を配置</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の向上のため、安全管理、生活指導、人材育成等の計画的な研修の実施と、業務の執行体制についても検証、整備する。
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程の理解と特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 ・学年の違う仲間作り、多くの大人との関わりや活動を通し自主性や社会性、創造性が育つよう生活の場の提供 <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラブだより」を毎月発行し、活動や生活の様子を発信し行事等の参加、呼びかけの効果的な方法の工夫 ・必要な場合は、保護者と個別面談を行い、悩みや不安などの相談に応じ、助言や支援をし、学校等の関係機関やコミュニティ協議会等、地域組織と連携を図り課題解決を図る。 <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、学校、地域の情報交換だけでなく、児童の健全育成、保護者の子育て支援等にも連携し地域の育てる力を向上させる。 ・学校より毎月の下校時刻表、行事予定表を頂き、学校へも毎月「クラブだより」を配付し相互の情報交換を行う。 <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や法人運営の高齢者との様々な機会を通じた交流で、人の心のぬくもりを大切にする。 ・コミュニティ協議会、自治会長等と連携し、ともに参加できる行事を企画する。 <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童も無い児童も、また、食物アレルギー等配慮を要する児童も「ともに学び、ともに遊び、ともに育つ」を推進し、安心して安全に過ごせるように運営する。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ 放デイ担当者と連携	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	A	全て対応している。
	地域との交流促進	感染対策を行い、地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	感染予防対策の為、活動無し	C	コロナ禍による自粛のため、次年度以降に期待する。
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年2回の内部監査及び年6回の外部監査の実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の執行 (感染予防品・検査キット等を法人購入(見積合わせ))	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	開設、閉設時毎日実施	A	日々実施し、職員間の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	各クラブごとに年2回実施	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	南福祉会での全員研修会を年1回開催	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	A	定期的な点検を行っている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	各施設に正規支援員3名配置した	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	南福祉会での全員研修会を年4回開催	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診年1回実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ◆ 法人内の研修や勉強会に参加が可能で知識やノウハウの習得の機会が多い(感染・看護・栄養・接遇等)
- ◆ 法人内の備品(プロジェクター・イベント用品等)の利用ができ、日々の行事やイベントに活用できる。
- ◆ 正職員率が高く、緊急時の対応ができる。
- ◆ 様々な有資格者(社会福祉士・介護福祉士・看護師・小中高教諭)が在職しています。
- ◆ 他職種(放課後デイ)と連携会議を開き情報交換を行っています。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

利用者が安心・安全に児童を預けられるよう職員向けの研修を行い職員の資質向上を行うとともに、地域、学校、保護者、放課後デイと情報共有を図っているほか、法人内の介護分野のノウハウも生かしながら運営にあっている。また、令和4年度においてもコロナ禍で様々な制限がある中、一部の項目で未実施となったものの、緊急時の事象対応、感染症対策の実施、アンケートの内容も踏まえながら児童が楽しめる運営に努めるなど、工夫しながら児童の健全育成を図っている。また、職員の処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（木戸ひまわりクラブ）		
管理者名	特定非営利法人新潟市木戸地域コミュニティ協議会 木戸ひまわりクラブ運営委員会	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>[基本理念] 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら、「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>[基本方針] 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図る。遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図る。保護者の子育ての支援を図る。</p>
運営組織	<p>[職員配置] 〈支援員〉委嘱職員 第1、第2 各2名 〈補助員〉加配 第1・3名 第2・6名 日々代替補助員数名 事務員2名</p> <p>[人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容] 人材を確保するために広く公募し、厳選に選考する。知識と理解力及び情熱を有する質の高い人材を育成するために積極的に研修へ参加する。実習生や職場体験の積極的な受け入れをする。</p>
運営についての提案	<p>(1) 子どもの発達段階に応じた健全育成 子どもの発達の特徴をふまえた個々の実際に即した援助を行う。学校・民生児童委員主任児童委員と連携を密にし、課題解決に取り組む。</p> <p>(2) 保護者との連携及び保護者支援 保護者からの告知を丁寧に聞き、支援員からの報告を徹底する。保護者に寄り添える姿勢を大切にする。</p> <p>(3) 学校との連携 学校とは随時情報をやり取りし、子ども一人ひとりをよく見る。地域教育コーディネーターを介して学校との連携を密にする。放課後ふれあいスクールとは、一体化して活動する。</p> <p>(4) 地域との連携 民生児童委員・コミ協・学校支援ボランティア・PTAとの連携を密にし、地域全体で課題解決に取り組む。地域行事を共同で行う。</p> <p>(5) 配慮を要する児童に対する対応方針 障害児の入会希望には、子どもと保護者の立場に立って対応し、受け入れを行う。学校や地域の専門機関との連携や、研修による障がい児支援の向上を図る。</p> <p>(6) 要望・苦情に対する対応及び方法 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映させる。苦情の受付は、面接、電話、書面などで行い報告書にまとめる。担当者と責任者で内容確認をした上で、解決に向けて話し合いを行う。必要な時には第三者委員の意見を聞き、対応する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	全て受け入れた	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	肢体不自由・発達障害の児童の受け入れを行った	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て開設の対応を行った	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	木戸コミュニティセンター文化祭での児童の作品展示、木戸コミュニティセンターでの木戸ひまわりクラブ業務内容の掲示 子ども食堂への協力	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回行った	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	電気工事の見積もり合わせを行った	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日ミーティングを行い、事務局とは月に1回ミーティングを行った	A	日々実施し、職員間の情報共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年3回の実施の他、1年生は週に1回初期行動の訓練を行う	A	目標を超える回数を実施している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	個人情報保護に関する内部研修を年1回以上行った	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	施設設備、安全点検を毎日行った	A	点検を日々行っている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	定められた業務仕様書を月末に事務局へ提出する	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	第1 正規支援員2名 補助員3名 第2 正規支援員2名 補助員6名	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	研修回参加年5回の他、日常的に児童の支援に関する研修を行っている。	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	健康診断を年1回行った	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

学校・地域との連携が厚い。職員は、日常的に学校の授業や休憩時間、給食の時間に研修を兼ねて見守りボランティアとして入っている。感染予防のため、毎日学校の多目的室をお借りして分散して活動行った。学校支援ボランティア(地域)と学生が毎週土曜日にひまわりに来てくださり、体育館やグラウンドで子どもたちを遊ばせてくれている。
 日々のミーティングでは、前日の振り返りと、当日の役割分担(学校ボランティア、エピペン対応の担当確認等)を行い、月に1回事務局と支援員でミーティングを行っている。
 日常の安全点検を確実にし、記録するように改善をして実施している。
 ひまわりでの避難訓練以外に、学校、コミセンの避難訓練にも職員全員で参加している。
 コミセンの文化祭には、ひまわりの児童の作品を出展して参加をしている。夏休みには、地域の講師から指導をしていただき、陶芸教室草木染教室を行っている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもの地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られている。障がい児への対応についても日常的に研修を行いながら、個々に合った見守りが実施できるよう努めている。
 令和4年度においてもコロナ禍で様々な制限がある中、空き教室を活用した分散運営の実施、地域や学校と協力をしながら緊急的な事象への対応や行事を開催するなど、地域で子育てを支援する環境が育まれている。
 また、職員の処遇改善(キャリアアップ処遇改善等)の実施や、研修会へ積極的に参加することで職員の資質向上に努めており、指定管理者として優良と評価する。

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ（56クラブ）		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】 放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能を補完し、子どもの心身の状況や発達段階を踏まえながら、適切な遊び及び生活の場を提供するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、その健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 ①子どもの安全管理、健康管理、情緒の安定②遊びなどの活動への意欲と態度の形成③遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上及び基本的生活習慣の確立④保護者と連携した育成支援と学校や地域の様々な社会資源と連携し、その家庭の子育てを支援する。</p>
運営組織	<p>【職員配置】 支援の単位ごとに2名以上の支援員を配置し確実なクラブ運営を実施する。</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 児童の育成に情熱を燃やし、心身ともに健康な支援員を確保し、都道府県認定資格研修を修了するなど質の高い人材を育成する。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 ①低・中・高学年の発達段階に応じた緻密な対応②学年を超えたコミュニケーションによる仲間づくりの醸成③積極的な交流・施設外活動による社会性の向上④安全確保能力を含めた自己管理能力の育成を図る。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】 連絡帳、クラブ便り、保護者会等により、保護者との連携を図るとともに、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、適切な支援を行う。</p> <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】 日頃から学校との情報共有に努め、子どもの健康状態や心身の状況に応じた支援、事故・犯罪・災害等から子どもを守るために連携を図る。</p> <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】 社協ならではの長を生かし様々な地域の関係機関と連携するとともに、ふれあいスクールや地域教育コーディネーターとの情報交換・連携に努める。</p> <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】 入会前にクラブ見学の期間を設け、保護者との綿密な情報共有を行うとともに、必要に応じて専門機関と連携を図り、協力できる体制を進める。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 意見箱の設置やアンケート等の実施、第三者機関の設置等により、利用者からの要望・苦情などに適切に対応する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	待機児童を発生させないよう対応している。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受入れました	A	個々に応じた対応を行っている。
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	A	全て対応している。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	すべてのクラブで保護者参加可能な行事を実施	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減の励行	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	各クラブで実施	A	日々実施し、職員間の状況共有・連携を高めている。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	すべてのクラブで実施	A	火災・災害等を想定した避難訓練を実施しました
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	研修会年2回実施	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	すべてのクラブで実施	A	定期的な点検が行えている。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書を遵守し実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	すべてのクラブ2人以上配置	A	目標を超える人員配置を行っている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	種別・目的別研修を実施	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断年1回	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

--

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

<p>市内の56クラブ(99施設)の運営を行っており、児童数増加に対する受け入れ態勢を整えるとともに、保護者アンケートの検証を行い運営改善に努め、効果的な児童の健全育成を図っている。</p> <p>また、他の放課後児童健全育成事業者に対し、研修や情報交換会を行う事業を実施する等、市全体の放課後児童クラブの質の向上を図るための重要な役割を担っている。</p> <p>令和4年度においてもコロナ渦で様々な制限がある中、事務局やクラブ、関係機関と連携を図り、緊急的な事象も適宜対応している。</p> <p>そのほか、職員の資質向上のため様々な研修、処遇改善(キャリアアップ処遇改善)についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。</p>
